



みせん

瀬戸内海国立公園

宮島地区パーク

ボランティアの会

第 48 号

発行日

平成24年 6月1日

◇ 目 次 ◇

P2 平成 24 年度定期総会

P3 総会後の活動

P4 入浜調査①

柴原自然保護官あいさつ

P5 平成23年度 PV 活動記録

P6、7 新入会員紹介①

P8 宮島にイノシシがいた

P9 入浜調査②

P10 新入会員紹介②

P11 鷹ノ巣高砲台作業

P12 極楽寺山トレッキング

P13 大三島エコツアー

町石、編集後記



「やっと春が来ました」

今年は例年に比べるとサクラも開花時期が大幅に遅れた。宮島で一番初めに咲くと言われている写真の「江之浦のヤマザクラ」もやっと3月末に花を迎えた。このヤマザクラは森と海を繋ぐ魚付林の一角にあり、若葉が花より早いのが特徴。

花見時には赤みかかった若葉が白い花に風情を添える、秋には紅葉が美しい。

(写真・文 小林 勲)

環境省人事

(平成 24 年 4 月 1 日付)

環境省 中国四国地方環境事務所

広島事務所の人事異動で

西野自然保護官が対馬自然保護官事務所へ転任され、後任に柴原自然保護官が着任されました。

(柴原さんの挨拶文は P4 に掲載)

PVの会 平成24年度総会

PVの会では、4月7日（土）杉之浦公民館に於いて平成24年度定期総会を開催した。

出席会員 48名 委任状提出者 4名 （会員総数 56名）

下線：新会員

（出席者）足立 池田 岩崎 大西 小方ペア 小川 奥田 恩田 金山 川崎 河村 菊村
北野 黒木 五石 小林ペア 小林（寛） 佐伯 坂本 佐渡 佐藤（佐） 佐藤（庸） 島
末原 田中 田淵 兎谷 富田 中道 錦織 平田（攻） 平田（広） 平野 檜和田
佛崎 舛田 松田 宮本 三次 村上 柳瀬 山崎 山本 横路 呼坂 六重部
（環境省） 榊自然保護官 大高下AR

新年度活動計画決まる

1. 総会の開会（進行役 舛田副会長）

定刻 9 時 30 分に開会、配布資料の確認

出席者全員 自己紹介

成立要件の確認（過半数のため成立）

2. 開会挨拶

・環境省・榊自然保護官 挨拶

12 年前「宮島 PV の会」発足時にお手伝いしたが、活動内容や出席率は他地区 PV の見本になると思う。

4 月 1 日付で西野 自然保護官が対馬自然保護官（事）へ転任（ツシマヤマネコ生息地）

柴原 自然保護官（本省 国立公園課）が着任予定（次ページにあいさつ文）

・環境省・大高下AR 挨拶

活動の間合せ多く認知度が高まっている。新会員を含めて健康や家庭に無理のないよう参加を。環境省ではボランティアを永年された方へは表彰があるようです。

・村上会長 挨拶

前年度 6 名退会、「心・技・体」の衰退と引き際を察して、気持ちよく送り出したい。新会員への活動心得①公の活動を最優先②他の活動と競合する場合は、宮島 PV を優先

③過去の自分の専門知識に拘らず、調和して楽しく活動して下さい。

入浜の活動が多いが、ラムサール条約登録に合わせ、汽水地の美観やデータを整えるため、5 年目の今年には報告書を作りたい。

1992 年の地球サミットから 20 年たった。あらためて環境保全を念頭に活動したい。

3. 総会議事（議長 村上会長）

幹事会原案のとおり、次の 4 議案につき報告・審議がなされ、異議なく承認された。

ア. 平成 23 年度活動状況について

イ. 平成 23 年度決算（案）について

川崎監査員から適正との監査報告

ウ. 平成 24 年度活動計画（案）について

会長・各部長から説明

エ. 平成 24 年度予算（案）について

4. 意見等

・活動日の中止基準は雨天確率 50%以上とするが、活動内容により 40%で中止もある。

・中止決定後の個人的活動は保険適用外

5. その他

・12 月は記念の「みせん 50 号」発刊

・小林・末原：当面の行事予定の説明

6. 総会終了 12:00 （佐藤 佐十四）



記念写真

総会後の活動（小なきり浜）

【植物観察】：北野 孝幸

昨年データを元に今年は少し範囲を拡げて道路沿い側の状況も植生調査した。毎年、同じマップを使用しているはずだが何故か？少しずつ赤色が入る。例えば秋に入口で目を上げれば見えてくるタマミズキなどはマップ上の枠外個所にあり、未記入もあるようです。今年の花の状態はというと、目立つはずのザイフリボクは未だ蕾多く、コバノミツバツツジも開花は未だ見えずなど昨年よりも花達の開花は遅いようです。また、道路沿いを通っての「小なきり浜」西側の高台（小なきり岬？）からの展望が素晴らしいですね。この展望と自然を生かす活動を組み込めばと思う。

【清掃】：末原 義秋

浜には相変わらず流木等が散乱していましたが、ここ2・3年大きな台風がきていないのでこの程度だと思います。かつては長さ10数メートルの大きな流木を何本も山裾へ運んだ記憶があります。今年も台風が来ないことを祈って清掃作業を終えました。



H24 年度入浜定点観測①

日 時 4月7日（土）13：00～14：00
参加者 大西 小川 奥田 小林 ペア
中道 檜和田 松田 宮本 山崎 横路
六重部

【植物観察】：六重部 篤志

これまでどんな植物があるか調査してきましたが、今回から調査日ごとの生育状況、種子植物は蕾・花・実、シダ植物は孢子について一年間記録し、「入浜の花暦」として纏め、またGPSなどを駆使して樹木などの位置

西野さんの後任自然保護官

柴原 崇 さん あいさつ



本省より異動してまいりました西野の後任の「柴」原です。どうぞよろしくお願いします。

勤務地は新潟以西を勤めてきましたが、瀬戸内海国立

公園は初めての担当となります。

先日初めて宮島に行きましたが、瀬戸内の人と自然が作り出した風景に、原始的で厳しい自然がある国立公園とは異なる、誰でも受け入れる温かみのある国立公園に来たと感じております。その中で、多くの国立公園を利用される方々を迎え入れる宮島地区のパークボランティアのみなさまと一緒に活動できることを楽しみにしています。何卒よろしくお願いいたします。

や樹高・幹周などの記録などという要望もありますが、技術面での問題など今後メンバーでどこまで可能か検討することとします。

いつもの通り池周辺を散策。今回は東側の廃屋跡、池北側の鹿保護施設や西奥の旧開拓地などもくまなく観察。樹木では植栽したのですがカリン、ソメイヨシノ、モモが、草木ではスミレ、シハイスミレ、ナガバタチツボスミレ、ナズナなどが見つかりました。シダ植物では、春の陽射しを浴びて軟らかく美味しそうなワラビがいっぱい芽吹いていました。西側の林縁ではナンゴクウラシマソウも芽を出していました。5月の定点観察ではナンゴクウラシマソウの「浦島太郎の釣り糸」として見られるでしょう。

去年は木の実が豊作でしたが、今年は、花つきが悪くクロキやシキミなどは全く花がみられませんでした。

【野鳥観察】：大西 順子

池から突然飛び立ったものがあつた。カルガモだ。間もなく後を追うようにもう1羽が海の方に飛んだ。カップルだったかも？初夏、雛を連れたカルガモ親子が並んで歩いたり泳いだりする姿が見れると嬉しいなあ～！

渡り鳥のノビタキみは夏羽に移行し得意のフライキャッチを繰り返していた。冬鳥のアカハラに久しぶりに出会った。海岸で見かけるなんて・・・やはり移動途中だろうか？

30羽程度のツバメの群を数回見かけた。その群にはツバメ・コシアカツバメ・イワツバメの3種が混在していた。移動してきたばかりの群に違いはないだろうとのことだった。

確認できた鳥 アオゲラ・コゲラ・シロハラ・アカハラ・アオジ・ホオジロ・ツバメ・コシアカツバメ・イワツバメ・ノビタキ・シジュウカラ・キジバト・ヒヨドリ・カルガモ・カワウ・ウグイス・ハシボソガラス・トビ・ミサゴ (計 19種)



アカハラ

木の陰からそっと写しました^ : ^

【水質調査】：小川 加代

調査時刻 13～14時、干潮 16:06

水位：B地点で-1cm (2月より13cm上昇)



水路の状況

水路：山から池への流入はなかったが、池の水は水路から流れ出ていた。池の近くに発泡スチロールがたまり、ちぎれた海藻があつた。

(左下写真) 池の水は波打ち際の砂が高く海に流れ出ることなく山水と合流したところで溜っていた。

測定データは9ページに掲載しています。

【水生生物・鳥】：松田 賢

まだまだ気温が低い春先、トンボ類の成虫は見られませんでした。池の中ではメダカやハイイロゲンゴロウ？の幼虫、アカムシ(ユスリカの幼虫)が活動し、シュレーゲルアオガエルの鳴き声も響いていました。鳥類は留鳥・冬鳥に渡り途中とみられる種が加わり、21種が確認されました。飛去前のシロハラやアカハラのなんとなく慌ただしい動き、換羽中のノビタキのフライキャッチ、30羽程度のツバメたち(ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメが混じる)の池上空での舞いが印象的でした。トンボ類については4月21日に補足調査を行い、成虫越冬するオツネントンボ(多)とホソミオツネントンボ(少)のみ確認しました。

久し振りの14名の新入会員

昨年 環境省広島事務所が募集された新規パークボランティアについては、5回の研修を終えられて、4月に正式に会員登録されました。

新登録会員は14名で在籍会員と合わせて総数56名となり、平成19年の59名以来の大人数となりました。

新入会員名(所属部会)は次の通り
(アイウエオ順)

恩田浩幸(環境整備) 亀岡大真(観察)
河村勝美(広報) 菊村洋二(環境整備)
黒木隆信(観察) 小林寛致(環境整備)
兎谷清博(環境整備) 錦織 誠(環境整備)
平田 攻(観察) 檜和田正嗣(環境整備)
宮本雄介(観察) 山崎美和(観察)
山本昌生(観察) 呼坂達夫(観察)

(P6・7、10・11に自己紹介文掲載)

所属部会 観察部会 7名(29名)

環境整備部会 6名(21名)

広報部会 1名(6名)

()内は会員全体の数を示す。

絆を意識しつつがんばった、この１年

平成 23 年度 PV 活動記録

平成 23 年 4 月～24 年 3 月

	開 催 日	行 事	参加 会員	備 考
総 会	4/9 (土)	平成 23 年度定期総会	30	午後小なきり浜清掃
	12/3 (土)	会員の集い	30	部会打ち合わせ
観 察 部 会	6/4 (土)	公募観察会①奥ノ院・多々良コース	22	公募参加者 52 名
	11/20 (日)	〃 ②博打尾コース	17	〃 28 名
	24.3/17 (土)	〃 ③江之浦・室浜コース	—	雨天中止
	4/9 (土)	自主観察会①小なきり浜周辺	28	植物調査
	5/28 (土)	〃 ②奥ノ院・多々良コース	11	下見 (兼)
	9/22 (土)	〃 ③極楽寺山	11	ハチクマ渡り観察
	10/22 (土)	〃 ④弥山登山道	6	町石調査
	11/13 (日)	〃 ⑤博打尾 下見 (兼)	10	研修生 10 名
	24.1/7 (土)	〃 ⑥大聖院・紅葉谷、弥山新	18	春登山 研修生 11 名
	24.3/10 (土)	〃 ⑦江 (よ) 之浦・室浜	10	下見 (兼)
	4/16 (土)	〃 OP①阿多田島・島外調査	17	登山・灯台・海浜
	7/9 (土)	〃 OP②極楽寺山・きのこ調査	15	ウスキキヌガサタケ
	24.1/28 (土)	〃 OP③岩国市・門前川	16	冬鳥観察
	6/25 (土)	植物マップ作り・弥山登山道	21	
	5/21、6/18、7/30、10/15、24.2/4 (入浜定点観測)		延 77	8/27、9/24 補足調査
環 境 整 備 部 会	4/9 (土)	小なきり浜清掃	(一)	自主観察会協働
	4/23 (土)	岩船岳清掃登山	—	雨天中止
	5/14 (土)	鷹ノ巣高砲台跡整備・清掃	19	
	6/25 (土)	樹木名板調査パトロール	(一)	植物マップ作り協働
	7/14 (木)	管絃祭前・厳島神社海浜清掃	13	管絃祭 (7/17)
	7/16 (土)	包ヶ浦海岸清掃	21	ソーメン流し
	8/7 (土)	自然公園クリーンデー (海岸清掃)	13	一般参加 34 名
	10/1 (土)	樹木名板取付保全 (うぐいす、あせ	15	び、もみじ歩道)
	10/29 (土)	紅葉谷公園清掃	19	研修生 16 名
	12/10 (土)	弥山登山道補修・清掃	18	〃 12 名
そ の 他	5/21、6/18、7/30、10/15、24.2/4 (汽水復活作業)		(一)	24.2/4 研修生 10 名
	6/5 (日)	環境の日ひろしま大会	3	環境省、広島県
	6/11～12	PV 活動研修交流会 (蒜山・大山)	10	大山・隠岐国立公園
	10/23 (日)	ふれあい行事 (環境省)・極楽寺山	7	きのこ観察、一般 31 名
	11/25～26	RCC エコメッセ	延 15	活動内容展示
	12/3 (土)	研修会 (環境省)「観察会の運営と	33	安全管理」研修生 14 名
	〃	PV 自主研修会	(一)	「観察会の救急対応」
	24.3/20 (火)	極楽寺山探勝 (観音台公民館)	10	一般参加 20 名
	24.3/14 (水)	〃 下見	7	

背景の写真は新宮島八景「江之浦の桜」です。(写真：末原 義秋)

新入会員紹介

平成24年4月入会(その1)

ひわだ しゅうじ
檜和田 正嗣

環境整備部会

① 広島市南区元宇品町 O 型

② 広島 東京

③ 元宇品の"アースミュージアム元宇品"の活動に活かしたい

④ アースミュージアム元宇品

⑤ 富士山の撮影 (写真) スキューバダイビング ゴルフ

⑥ 富士山

⑦ 里子の結婚式

⑧ 年を重ねるごとに何事も許せるようになった

⑨ ・求めなさい、そうすれば与えられます
・捜しなさい、そうすれば見つかります
・たたきなさい、そうすれば開かれます

⑩ 常にプラス指向



◇自己紹介◇アンケート

- ① 現在住んでいる所、血液型
- ② 出身地、今までに長く住んだ所
- ③ PVに応募した動機
- ④ 他にボランティア活動していますか?
- ⑤ 趣味、特技など
- ⑥ 今までに登った一番高い山は?
- ⑦ 最近何か感動したことがありますか?
- ⑧ 最近憤慨していることがあれば
- ⑨ 好きな言葉
- ⑩ その他自己PRなどなんでも

ひろゆき
小林 寛致

環境整備部会

① 広島市東区矢賀 B 型

② 大阪府出身 (12 年間) 京都府 (6 年間) 愛知県 (2 年間)

③ リオの伝説のスピーチで「どうやって直すのかも分からないものを壊し続けるのは止めてください」や「子供たちを愛していることを行動で示してください」の文言に衝撃を受けました。行動を示す一手段に PV 参加を狙っていました。



④ 会社内に種々ボランティア活動があり、森林整備や身障者の手伝いや地域のゴミ拾い清掃等を行っています。

⑤ 読書・音楽鑑賞・スポーツ観戦・里山散歩 ソフトボール等、変り種は約 6 年間水汲みに通っています (地球の恵みを頂いて)。

⑥ 北岳

⑦ 佐藤寿人の J1 通算 100 ゴール、マエケンのノーヒットノーラン、選抜高校野球の選手宣誓、基町高校器楽部定期演奏会

⑧ ポイ捨て

⑨ “ケセラセラ”

⑩ 最近「怒らないこと」という本を読みました。是非そうありたいものだともマインドコントロールしますが、もし私の怒りを見かけたら戒めてやってください。

山崎 美和

観察部会

① 廿日市市阿品台 A 型

② 高知県、山口県～広島県矢野町～大野町

③ 自然の魅力をもっと味わいたい、またアピールしたい

④ 宮島 桜もみじの会・宮島 弥山を守る会・宮島 弥山クラブ

⑤ 登山、植物観察

⑥ 富士山

⑦ 阿多田島から眺める、宮島海道の旅

⑧ つまづき易い道 (山道) の切られた木!

⑨ 人も自然の中の一部

⑩ 宮島の魅力発信人



とがい

兎谷 清博 環境整備部会

- ① 広島市中区東白島町 A 型
- ② 広島市
- ③ PV の活動を TV で見たこと
- ④ 考え中
- ⑤ 読書、散歩
- ⑥ 弥山
- ⑨ 渋柿の渋がそのまま甘さかな
- ⑩ 雑学大好き人間です。



菊村 洋二 環境整備部会

- ① 広島市佐伯区観音台 A 型
- ② 安芸高田市 広島市佐伯区
- ③ 現役時代に宮島町に大変お世話になった為、少しでもお役になればと思って応募しました。
- ④ 佐伯社協「ふれ愛」グループ
- ⑤ ドライブ、グランドゴルフ
- ⑥ 島根県・三瓶山
- ⑦ 在宅支援をした後に喜んでいただいたこと
- ⑨ “思いやり”



おんだ ひろゆき

恩田 浩幸 環境整備部会

- ① 岩国市周東町 O 型
- ② 呉市（若い時、自衛隊に入隊していました）
- ③ 自然環境に興味がありました。
- ④ 多くて書けません。
- ⑤ つり、旅行
- ⑥ 火の山（下関）野呂山（呉市）
- ⑦ 復興支援で陸前高田市 の一本松を見た時
- ⑧ 原子力行政の迷走
- ⑨ “人生ゆっくり”
- ⑩ 楽しく活動したいと思います、宜しくお願いします。



おさむ

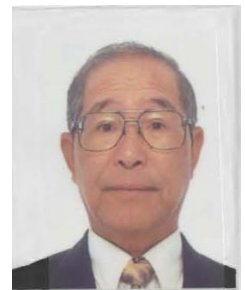
平田 攻 観察部会

- ① 広島市佐伯区 O 型
- ② 広島市→呉市安浦町→広島市→東京→広島→大阪→東京→広島市
- ③ 水族館をはじめ宮島に長く関わっているので、その延長線上でやろうと考えた。
- ④ 宮島水族館教育ボランティア、広島市植物園ガイドボランティア、宮島の磯・生き物調査団、元宇品アースミュージアム
- ⑤ サッカー、ゴルフ、囲碁、自然観察（磯・山野）、歴史
- ⑥ 富士山
- ⑦ 素晴らしい人たちとの交流で、日々感動することが多い
- ⑧ 民主党のだらしなさ、一部高級官僚の倫理観欠如
- ⑨ 「明るく！楽しく！」「心に太陽、唇に歌を」



黒木 隆信 観察部会

- ① 広島市中区基町 B 型
- ② 宮崎、広島
- ③ 宮島が大好き
- ⑤ 山歩き、囲碁、俳句
- ⑥ 剣山（徳島）
- ⑦ PV が拾い集めたゴミの山
- ⑧ 北朝鮮のミサイル
- ⑨ 幸福なるかな、無欲なるもの
- ⑩ 自然を大切に思う心



(※ 以下 P10、P11 に掲載)

「みせん」 次号発行予定

発行日 9月1日（第49号）
投稿原稿 常時受け付けています



宮島に イノシシがいた！



長らく宮島にはいないとされてきたイノシシですが、目撃情報は 2008 年頃からありました。私は 2009 年 4 月に入浜でイノシシの足跡を見たのですが、姿を見ることはありませんでした。ところが 3 月 10 日午後、多々良潟でついにイノシシを見つけました。

当日は自主観察会兼公募観察会の下見で、広島大学植物実験所から歩いて帰ってくる時、大師川河口に設置されたシロウオ漁の網を見ていると、その先の干潟をシカの群れがゆっくり移動中でした。後方の N さんにそれを告げると、「イノシシがいる！」との返事。目を凝らすと最後尾のシカから少し離れて、下を向き何かを探しながら歩くイノシシがいます。カメラを構える N さんの「他の人に知らせてあげて！」の声に、私は先に進むメンバーに小声で呼びかけますが、気付いてもらえません。仕方なく大きな声で叫んだら、シカの群れは西側の藪めがけ足を速めたので、私も写真を撮ることにしました。

イノシシはシカが小走りしていることに気付くと追うように走りだし、シカが次々に藪の中に入っていくと、それを見てイノシシは猪突猛進？ し、藪の中でやっとシカに追いついたようです。

「シカの群れにイノシシがくっついていようだ。」と話しながら、多々良の「こぶし岩」に向かうと、多々良の作業場内にシカ道がありました。イノシシと思われる副蹄付き足跡とシカの足跡がくっきり残っていました。足跡は東から西へ、多々良潟に向かっていたので、前述のシカとイノシシが残した可能性が大きいと思われました。

なお 3 月 4 日にも入浜で、同程度の大きさのイノシシの足跡を写真で記録しています。

(投稿：小川 加代)



シロウオ漁



猪突猛進



鹿と猪の足跡

「宮島一周クリーン作戦」

作戦の内容は、宮島周辺の浜にある発泡スチロール等の自然では分解されない漂着物を回収・処分することです。これらの漂着ゴミは宮島の景観を悪化させ、貴重な生態系を破壊するため、この作戦を成功させたい。当会も協力団体に名を連ねており、金山会員も奮闘中なので、渡船の関係で 15 名限定ですが、会員の参加をお願いします。

実施日 H24.6 月 10 日 (日)
(予備日 H24.6 月 17 日 (日))
会員の集合場所：宮島栈橋 藤棚
〃 参加時間：9：00～15：00

入浜定点観測②

及び維持管理作業

日 時 5月12日 9:00～14:00

天 候 晴

参加者 小方(嗣) 小川 川崎 河村 北野 黒木
小林(み) 佐藤(佐) 末原 兎谷 平田 松田
村上 横路 六重部 柴原自然保護官
大高下AR

【水質調査】：小川 加代

前回の定点観測①と合わせて報告します

		測定日時	4月7日13～14時	5月12日10～11時
		天候	曇時々小雨	快晴
		調査開始時の気温	9.6℃	16.5℃
		山側からの流入	なし	なし
		水路への流出	あり	あり
主 な 調 査 地 点 の 水 質	A	水温 (℃)	13.2	17.2
		PH	6.6	6.8
		COD	5	10
	B	水温 (℃)	13.1	17.1
		PH	6.5	6.9
		COD	5	5
	D	水温 (℃)	13.4	20.6
		PH	6	6.9
		COD	5	10
	F	水温 (℃)	14.1	20.6
		PH	6.7	7.1
		COD	5	10
		池の塩分	すべての地点で 0.0%	すべての地点で 0.0%

【植物観察】：小林 みどり

この日は廿日市、大野や宮島町でも南向きの山は新緑の中ツブラジイの花で黄色っぽいモコモコでした。池の周りは緑が濃くなって黄色のジャケツイバラがよく映えていました。

シロダモの新葉が生まれたての赤ちゃんの色でビロード状の毛をまとうて柔らかそうでした。池の泥の所で立派な猪



ジャケツイバラ

の足跡があり残念な気持ちです。

鹿用のフェンスの中には今まで宮島で見たことのない草や柔らかそうなアラカシ、芝、ス

ゲなど鹿が喜びそうな食べ物がいっぱいありました。浜辺にはイワタイゲキが太陽を浴びて咲いていました。

【水生生物】次号に掲載します。

【維持管理作業】：黒木 隆信

参加者のうち10名が環境整備作業を行いました。作業内容は次の通りです。

- ・大型土のう袋（トン袋）の破損部の除去
- ・新しい土のう袋70袋による水路修復の土のう袋積み作業



修復土のう袋積み作業

- ・水路を妨げているゴミの除去
 - ・小憩後、池周辺、浜辺のゴミ収集13袋
- 収集ゴミの総重量は55kgでした。

「瀬戸内エコツーリズム

フォーラム2012」に参加して

日 時 2月25日 13:00～16:00

場 所 広島YMCAホール本館

主催者 瀬戸内ツーリズム推進協議会

後 援 環境省中国四国地方環境事務所等

参加者 平田 村上 呼坂

かねがねエコツーリズムとはなんだろうと疑問があったため、理解するために参加しました。その定義は「自然環境保全に配慮しながら、それらを体験し学ぶことで環境保全や地域振興に貢献する活動」です。もちろん瀬戸内海国立公園の活性化、宮島に訪れる旅行者への対応や新たな観光ビジネスの創生なども含まれますが、必要な地域コーディネーターやガイドの人材育成が出来ていないなどまだ課題があるようです。当会の金山会員がパネルディスカッションのパネリストとして参加されました。

(平田 広三郎)

新入会員紹介

平成24年4月入会(その2)

にしきおり

錦 織 誠 環境整備部会

- ① 広島市中区西白島町 AB 型
 ② 熊本市 広島市
 ③ 退職後、私に何か役立つことはないかと応募しました。
 ④ 西区山なみの会ボランティア、公民館ボランティア
 ⑤ 地方の温泉探し 山歩き
 ⑥ 石鎚山
 ⑦ この4月に孫が誕生したこと
 ⑧ “継続は力なり”



◇自己紹介◇アンケート

- ① 現在住んでいる所、血液型
 ② 出身地、今までに長く住んだ所
 ③ PVに応募した動機
 ④ 他にボランティア活動していますか？
 ⑤ 趣味、特技など
 ⑥ 今までに登った一番高い山は？
 ⑦ 最近何か感動したことがありますか？
 ⑧ 最近憤慨していることがあれば
 ⑨ 好きな言葉
 ⑩ その他自己PRなどなんでも

河村 勝美 広報部会

- ① 広島市佐伯区五日市 A 型
 ② 山口県宇部市・博多（福岡市）、鳥取市
 ③ 宮島に魅せられて、もっと深く関わってみたいと思ったからです。
 ⑤ 料理、掃除
 ⑥ 富士山
 ⑦ 最近、本村 洋さんの「なぜ君は絶望と闘ったのか」を読んで、グット・・・きました。
 ⑧ 高齢者に優しくない日本の政治の諸々
 ⑨ “正義の味方（ハリマオ）”



よぶさか

呼坂 達夫 観察部会

- ① 廿日市市物見西 A 型
 ② 宮島町（47 年）
 ③ 宮島で生まれ育ち、又長年の水族館勤務等の経験がお役に立てばと
 ④ 宮島の磯・生き物調査団、みやじま未来ミーティング環境学習・プロジェクトリーダー、広島市植物公園ガイドボランティア、NPO 法人・自然環境ネットワーク「SAREN」



- NPO 法人・宮島ネットワーク（理事）
 ⑤ 自然観察、写真、魚介類の調理と食事
 ⑥ 比婆山系 猫山（庄原）
 ⑦ 新鮮な旬の食べ物を頂いたとき
 ⑧ 環境を乱す行為
 ⑨ “快適”
 ⑩ 宮島はもとより、海や山などすばらしい自然を紹介したい。

山本 昌生 観察部会

- ① 廿日市市宮島口上 O 型
 ② 大竹市 現住地
 ③ 近くに住んでいることと、貴重な自然の保護や調査などに参加したいと思ったから
 ④ 廿日市市国際交流協会の HP 作り
 ⑤ 野山の散策、植物の写真撮影
 ⑥ 北岳（3,193m）
 ⑦ 2009 年の皆既日食
 ⑧ 原発事故
 ⑨ “何とかなる”
 ⑩ 土日の仕事が多く、行事に参加出来ないこともあります。皆さんと共に社会貢献できればと思っています。



亀岡 ^{たいしん}大真 観察部会

- ① 東広島市 A型
- ② 愛媛県大洲市出身
- ③ 自然を通じて多くの
人と関わりたいと思
ったから
- ④ 大学時代には色々
していましたが、今は
していません。
- ⑤ スポーツ全般、英会話
- ⑥ 富士山
- ⑦ 自分で生きたままの生物をさばいて料理
したことで、食べ物への感謝の気持ちを
学べたこと
- ⑧ メディア一般の人達の地球温暖化など
の自然環境に対する問題意識が希薄化し
ていること
- ⑨ “ありがとう”
- ⑩ 皆さんが今まで学ばれた知識や経験など
色々聞かせていただけると嬉しいです
私は体力だけは人一倍ありますので、遠慮
なく活用してください



宮本 ^{ゆうすけ}雄介 観察部会

- ① 広島市東区中山 B型
- ② 下関市出身 広島市、下関市、東京都
- ③ 現在観光地理学を研
究しています。その関
係で宮島の環境やボ
ランティア活動に興
味を持ち、自ら体験す
ると同時に少しでも
お役に立てればと思
い応募しました。
- ④ 今年2月、宮城県石巻市の漁港で震災復旧
ボランティアに参加しました。
- ⑤ 旅行、まち歩き、温泉・銭湯、落語、
ガーデニング
- ⑥ 富士山
- ⑦ 妻の故郷・福島県の桜が満開に咲いたこと
- ⑧ 原発再稼働への動き
- ⑨ “人生一回”
- ⑩ 新会員のため、ご迷惑をおかけすると思
いますが、よろしくお願いいたします。



鷹ノ巣高砲台跡整備

日 時 5月19日(土) 9:00~14:00

参加者 小方(嗣) 奥田 恩田 川崎

小林ペア 佐藤(佐) 末原 中道 平田

平山 柳瀬 六重部 榊自然保護官

快晴で蒸し暑さのない気候でしたが、方位
観測所や砲座跡へ上る二か所の階段は落ち葉
がたまり登り口もわからないほどでした。作
業は二班に分かれ、一班は方位観測所へ向か
う通路階段(写真↓)の落ち葉除去と土のう
(30袋)で通路の補修をし、もう一班は砲座



通路階段

跡周辺の倒木や雑草の除去でした。休憩時
には例年のご馳走である末原さんの奥さん手
作りの「いこもち(鹿児島名物)」をほうばり
ました。今回は参加者も割と少なく、総会時
に案内文を添付する連絡方法を改善すべきか
あとの意見もありました。そうは言っても
会伝統のボランティア魂を発揮して成果を
上げました。帰途には見学道の雨水による
溝掘れ(ガリー)に対処するため、道直角に
倒木を埋め込み、流れ込み用の水路を確保
した。



当日の参加者

本活動は、5月21日付「中国新聞」に掲載
されました。(平田 広三郎)

極楽寺山トレッキング

日 時 3月20日(火・祝) 9:00~15:30

場 所 極楽寺山(観音山)

参加者 岩崎 大西 小方ペア 北野

小林ペア 末原 村上

一般参加 20名 吉田公民館長 記者1名

昨年11月の予定が雨のため中止となり、今回の実施となった。極楽寺山の名前の由来は山頂近くに真言宗上不見極楽寺があることによります。また極楽寺の本尊千手観音にちなんで観音山とも呼ばれています。



クロモジ

村上会長の挨拶を終え9:30に出発する。

登山口での岩崎会員の丁石の説明では、頂上まで13丁ですが現存しているのは7基だそうです。1本道なので班リーダーによって樹木の説明をしながら登る。3月後半というのに今年は花が未だ咲いていない。

クロモジの葉芽、花芽もまだ固い。

パズルができそうなカゴノキ、五合目辺りからアカガシ、モミ林となる。

山頂付近ではモミノキの幹周り341cm、アカガシ753cmの巨木もあり見ごたえ十分です。

展望台で昼食をとり会員によるミニ講座が開催された。北野会員は極楽寺山には「黄金」があるとのこと。一両(ツルアリドオシ)十両(ヤブコウジ)万両(マンリョウ)です。百両(カラタチバナ)、千両(センリョウ)も埋蔵しているかも?小方会員による二十四節気の説明と自然のことを知れば自然を保護することに繋がるということを色んな事例で話された。

大西会員は鳥合わせを行い20種類の鳥が確認された。鳥はオスとメスとでは姿も違



講義中

い、夏と冬とでも鳴き方が違うそうです。

最後に奥ノ院にあるコウヤマキの説明では、シュートした姿が美しく、東京スカイツリーはこれをイメージしてデザインされたとのことでした。とうとう東京スカイツリーの話まで出た本日の魅力再発見トレッキングでした。(小林 颯)

なお本行事は以下のマスコミにも取り上げられています。(編集担当)

★ テレビ

4月17日(火)NHK朝の番組「ひろもり」の中で「ケーブルチャンネルだより」として放送されました。

★ You Tube の UP

観音山(極楽寺山)自然と歴史のトレッキング ふれあいチャンネル

<http://www.youtube.com/watch?v=wv5tM2YHYnc>

紅葉谷21 町石が危機的状況

町石を点検するため今年1月下旬歩いたが、紅葉谷21(号)町石が写真のように危機的状況にあった。



↑ 21 町石

この町石はロープウェイ山頂駅から霊火堂に向かう旧道に在り、今ではこの旧道を通る人も少なく普段人の目に触れることのない場所にある。

(以下次ページ)

そのため道は荒れているのだが、前ページの写真のように町石の上に大きな倒木がのしかかっている。かろうじて他の木に支えられ直撃をまぬがれているが、1mもない真上に倒木は覆いかぶさり、いつ落下し町石を破壊しないとも限らない状況である。

倒木は登山道を直角に遮っていて、長さ10数メートル、太さ40センチはあろうかという大木、動かそうにも簡単に動かない。チェーンソーで切断するしか方法がないように思われる。なんとか救いたい。ぜひ会員の皆さんの協力をお願いしたい。

(投稿：岩崎 義一)

大三島まるごと体験！

(第16回 瀬戸内エコツアー)

日 時 3月4日(日) 10:00~17:00

場 所 大三島(忠海港フェリー乗り場)

参加者 小林(勅)小方ペア 大高下AR

忠海港からはクルージング。スナメリクジラはいませんでした。ウサギさんの形をした「ひょっこりひょうたん島」が見えました。到着した大三島の宮浦港からはシクロツアーと称して自転車移動(正しくはシクロツーリズム:自転車旅行)。大山祇(おおやまずみ)神社では、天然記念物のクス



クスノキ

ノキにマツバランが着生していて、ここで小沢自然公園指導員の「生物多様性」の話がありました。

次は広島型花こう岩の上にいる領家型花こう岩でできている安神山(あんじんざん)の頂上で、大高下ARから「森の復活」「たくさんの生き物」についての話を聞きました。

昼食は地元のボランティアの方7人による地産地消の心のこもったおもてなしを受け、午後もしクロツアーを続行。台(うてな)海岸では希少種のシバナ、しょぼいチャボイが放射線を吸収するすごい奴だと聞きましたが、今は枯草でした？次はダルマ

ガエルの生息地と地元の人達による保護状況を見学しました。

宮浦港で「まとめ」がありツアーもここで終了し、大三島のお世話いただいた9人の方には船がみえなくなるまで手を振ってもらいました。忠海港で大久野島ビジターセンターの馬場さん達3人とお別れし帰途につきました。(投稿：小方 嗣彬)

宮島がラムサール条約登録候補地に！

環境省は、H24.5月10日ラムサール条約(国際的に重要な湿地の保全)の登録候補地として「宮島」を含めて9か所を新たに選定しました。今年7月までに登録され、これで日本の登録湿地は46か所になります。宮島が選ばれた理由は、山からの湧出水と大潮の時の海水が混ざる潮汐湿地(汽水地)が形成され、固有のミヤジマトンボが生息していることが評価されたようです。希少生物のミヤジマトンボの保護に寄与している当会にとっては、非常に喜ばしいことですが、これを機にさらなる湿地の保全に尽くすことが大事となります。

◇ 編集後記 ◇

▼14名の新会員を迎えました。この号が発刊されている頃は「新」の言葉はなくなっているでしょう。当会も世間の注目を集めていますので自ずと行動に規範やボランティアといえども絆が必要です。心したいものです。(平田広三郎)

瀬戸内海国立公園
宮島地区パークボランティアの会
事務局 環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所

(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎3号館1階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455

宮島詰所

(〒739-0505) 廿日市市宮島町1162-18

(宮島栈橋2階)